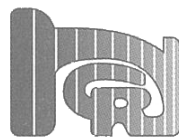


# フィリア・レター

～ 真の友人からの手紙 ～



発行所: 中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>



## 病院機能評価に向けて

事務局長 久保 隆滋

この4月から事務局長として当院に赴任しました久保と申します。

「ろうさい病院」はグループ病院として、全国に32の病院を展開していますが、事務系職員の多くは私のように全国各地を転勤しながら働いています。私は当院で9回目の転勤(6病院目)であり、名古屋勤務は初めてです。開院以来55年間、地域に根ざし地域の皆さんによって育まれた「中部ろうさい」の良いところを大切に、皆さんと同じ目線に立って、「医療の質」や「病院機能」の向上、時代の要請にあった病院作りを進めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、当院では毎年目標を立てて病院運営を行っておりますが、今年目標の一つに「病院機能評価の認定」を掲げています。これについて、少しお話をさせていただきます。

この「病院機能評価」というのは、「病院が患者さんに良質な医療を提供しているか」という視点で「日本医療機能評価機構」という第三者機関が病院の評価を行い認定するものです。申し込みは病院の自由意志であり、認定の効力は5年間です。現在、日本全国で約2,600の病院(日本の全病院数は約8,700です。)が、名古屋市内では45の病院(港区では当院だけ)がこの認定を受けています。5年前に初めて認定を受けた当院は、今年9月に更新時期を迎え2回目の審査を受けます。現在、この審査に向けてチームを組み、病院一丸となって「当院が果たして患者さんに対して良質な医療を提供しているか」について点検・見直し作業を続けています。

病院の中では、医師をはじめとして看護師、薬剤師、放射線技師、検査技師、リハビリテーション技師、栄養士等の実際に医療を行う人たちと、

それを側面から支える事務、電気・ボイラー技士、清掃等のいろいろな職種の人たちが、役割を分担し「協働・協力」して患者さんの診療のために昼夜働いています。安全・安心という言葉を胸に刻み、二重三重のチェックを行いながら患者さんの診療にあたっています。

しかしながら、これら多職種からなる職員のコミュニケーションが良くないと、患者さんの治療に集中する強い力を生み出せません。そうすると、患者さんにご迷惑をかけるばかりか、まかり間違えば命にかかわる事態を招きかねません。審査では、病院内で働く人たちのコミュニケーションがしっかり取れているか「チームとしての総合力」が問われます。実際には、審査に向けた準備作業を通じて、各職種の人たちがよく議論を重ね、お互いに理解し合い、コミュニケーションが深まり、「総合力」が高まるという上手い仕組みになっています。

審査を終えた暁には、地域の皆さんにより一層良質な医療を提供できるような病院を目指して努力してまいりたいと思っております。審査に向けた準備作業は8月が佳境となります。有名な名古屋の暑い夏が、もっともっとヒートアップしそうです。

最後に、皆さんに「お願い」が1点ございます。医療の質の向上のために、病院では多くの看護師を必要としています。このため、いずれの病院でも看護師不足が生じています。当院は看護学校を併設していますが、それだけでは看護師は足りない状況にあります。つきましては、患者さんのお知り合いで心当たりの看護師さんがおられたら是非ご紹介下さい。もし、ご紹介いただける場合には、お近くの職員までお声をかけていただければ助かります。「切に」お待ちしております。

これから夏本番です。お体にはくれぐれもご留意され、こまめな水分補給をお忘れなく。

### 今月号のお知らせ

#### ①病院機能評価に向けて

事務局長 久保 隆滋

#### ②塩分制限について

第二循環器内科部長 植谷 忠之

#### ③治験について

主任薬剤師 田中 章郎

#### ④外来師長になって思うこと

外来師長 佐藤 信枝

#### ④編集後記